

がん薬物療法計画指示書（乳 癌）

主治医（指示医） _____

指示日 年 月 日

レジメン名称 キイトルーダ[®] + AC 療法

【1クールの日数 21日】

1. 治療予定期間 _____ 年 月 日 ~ _____ 年 月 日

・実施クール () クール目 / 4クール

尚、この併用療法はキイトルーダ[®]+Weekly PTX+CBDCA 療法 4クール終了後に使用して下さい。

2. 適応 (TNBC で再発高リスクの乳癌における術前薬物療法)

3. 使用薬剤・投与量

薬剤名	用量	実投与量 (mg)	投与方法	輸液
①キイトルーダ 100mg	200mg/body	200mg (固定用量)	d. i. v.	生理食塩液 100mL
②ドキソルビシン (10mg : 50mg)	60mg/m ²	mg	d. i. v.	生理食塩液 100mL
③注射用エンドキサン 500mg	600mg/m ²	mg	d. i. v.	生理食塩液 250mL

4. 投与レジメン

◎内服処方（制吐剤）

Rp. 1) デカドロン錠 (4mg) 2錠 / 2× 朝食後、夕食後 3日分 (Day2~Day4)

投与日	投与時間	薬剤
Day 1	30min	生理食塩液 250mL + プロイメンド 150mg div.
	30min	生理食塩液 100mL + パロノセトロン 0.75mg + デキサート 9.9mg div.
	30min	生理食塩液 100mL + キイトルーダ 200mg div.
	全開で	生理食塩液 50mL div. (フラッシュ)
	30min	生理食塩液 100mL + ドキソルビシン _____ mg div.
	30min	生理食塩液 250mL + 注射用エンドキサン _____ mg div.

※ インラインフィルター (0.2~5µm) を使用してください。

※ ドキソルビシンは血管外漏出に特に注意。

※ ドキソルビシン：心機能異常またはその既往歴のある患者には禁忌。生涯投与量 500mg/m² までとする。

※ ドキソルビシン：肝機能障害のある場合には投与量の減量や中止を考慮する。また尿が赤くなることがある。

※ エンドキサン：出血性膀胱炎予防として十分な水分摂取と頻繁な排尿を心がける。